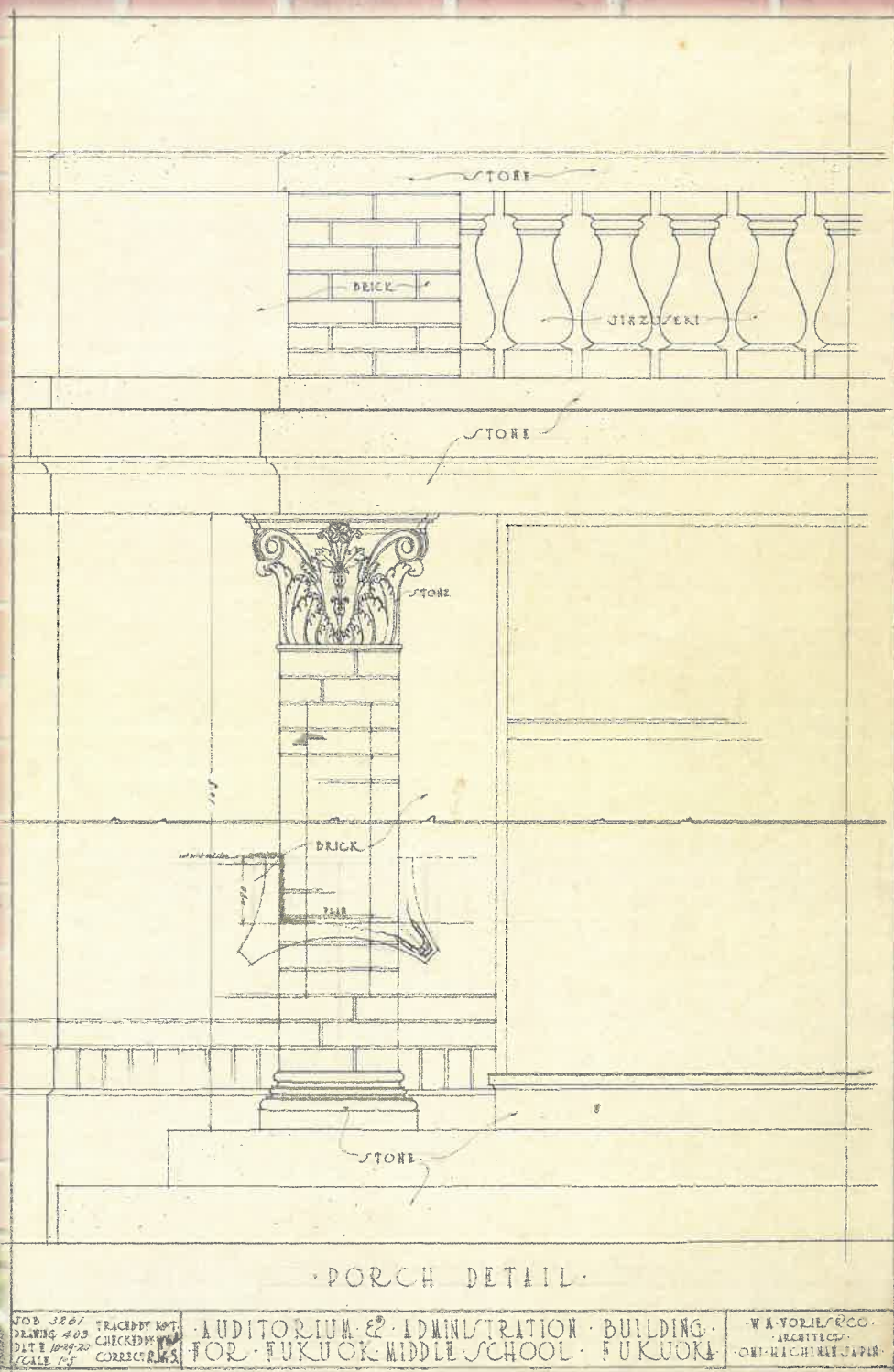


生きつづける建物

再生の記録



ポーチ詳細図

西南学院旧本館・講堂再生の道のり

西南学院のシンボルである旧本館・講堂は、1921(大正10)年に完成した福岡市内で数少ない煉瓦造建築物の一つである。その外観はプロテスタントの学校らしく、華美さを押さえ簡素ながら、柔らかさと同時に重厚さも備えたデザインの建物である。

日本では1923(大正12)年の関東大震災を境に煉瓦建築が建造されなくなってきた中で、旧本館・講堂は成熟期を迎えた煉瓦建造末期の建築に相当し、他の煉瓦造建築と比較しても完成度が高いといえる。

この建築については、幸い一部の「設計図」と「建築仕様書」が残されており、工事の内容をより具体的に知ることが出来る。また、当初の木製窓や建具などがよく維持されている点も貴重である。

この建物は当初、西南学院中学部の本館として建設され、以来2003(平成15)年3月まで西南学院中学校・高等学校の校舎の一部として使用されてきたが、中高の^{ももちはま}百道浜校地移転に伴いその役割を一新し、2006(平成18)年5月には西南学院大学博物館として再生した。

この役割転換に際して、時代ごとの要請に合わせて改修を重ねてきた当建築を出来るだけオリジナルに近い形で復元し、保存を図ることとした。その保存・修復にあたっての課題は以下の3点である。

1. 博物館として、機能上問題のないプランであること。
2. 耐震強度的に安全な強度であること。
3. 文化財として価値を損なわない改修とすること。

2003(平成15)年、保存・修復計画に先立ち基礎から天井裏部材まで、およそ半年かけて事前建物調査を行なった結果、各部材がかなり老朽化している事が判明した。この調査に基づき、上記課題を軸に具体的に検討を重ねながら、以下詳述するように耐震補強及び修復工事を進めた。

<耐震補強>

一般に煉瓦造建築には補強材が無いため、粘りに乏しく、大地震に対する耐久性が低い。耐久性の増強と文化財建築の保存という観点を両立させるため、使い勝手や美観を損なわない範囲の耐震補強方法を選択し、外部、内部のいずれの空間も原型を変えない範囲での耐震補強を行なった。

<修復工事>

文化財の保存・修復の観点から外部及び内部共に、材料は既存のものをなるべく残し、竣工当初の形状、仕上げの状態を保つことを第一の方針とした。ただ現実には、幾度かの改修工事を経て当初の材料が新建材等に置き換わっていた部分も少なくない。出来るだけオリジナルの状態に近づけることを原則としたが、下地を含めた工法の完全な復元等はずしも優先的な位置づけとはせず、柔軟に対応することにした。

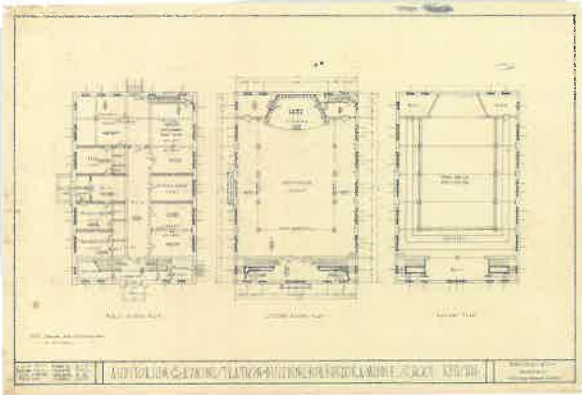
一連の保存・修復作業過程における詳細は、中面の写真と説明をご参照されたい。

(株)一粒社ヴォーリス建築事務所

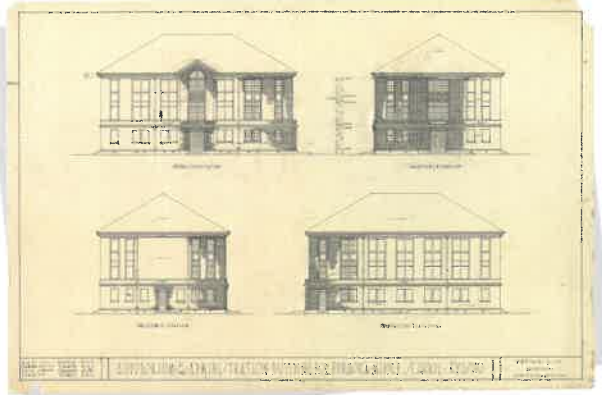
九州事務所 所長 吉田 稔

当初の設計図面

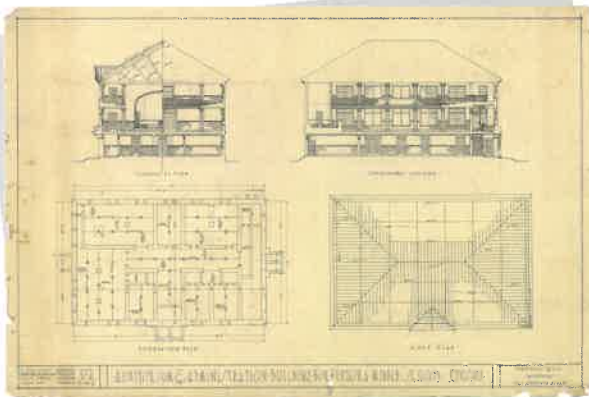
図面提供：株式会社 一粒社ヴォーリス建築事務所
大阪芸術大学博物館



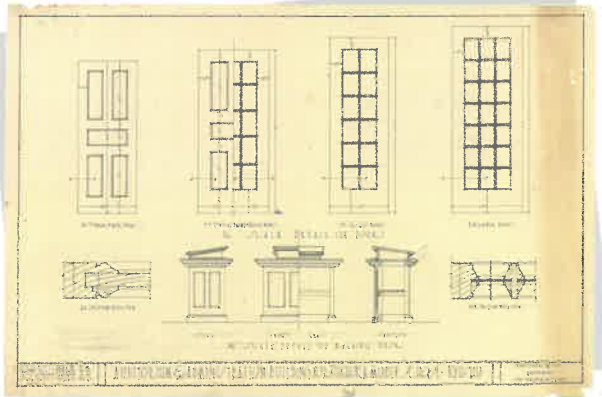
各階平面図



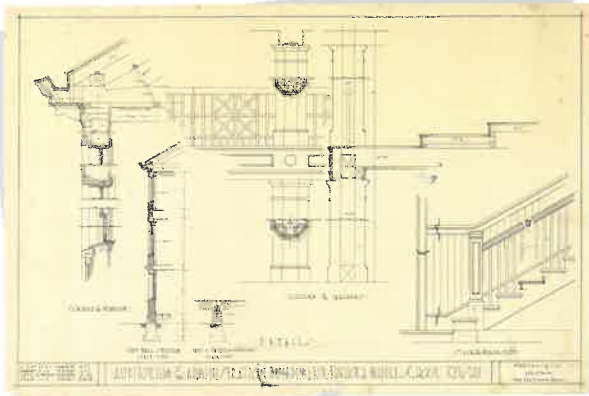
南立面、東立面、西立面、北立面図



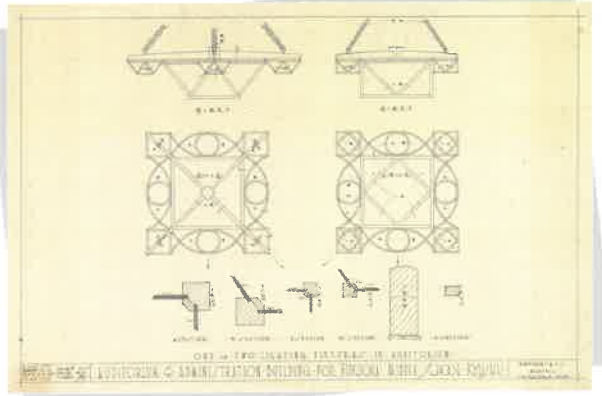
横断面図、縦断面図、基礎伏図、屋根伏図



建具詳細図、講壇机詳細図



階段等部分詳細図



吊灯具詳細図



建築家 ウィリアム・メレル・ヴォーリス

- | | | | |
|---|--------------|-----|--|
| 略 | 1880 (明治13)年 | 0歳 | 10月28日、米国カンザス州レヴンワースに生まれる。 |
| 歴 | 1905 (明治38)年 | 24歳 | 1月29日、滋賀県立商業学校に赴任のため来日。 |
| | 1908 (明治41)年 | 28歳 | 12月、京都YMCA会館建築工事監督後、建築工事監督事務所開設。 |
| | 1911 (明治44)年 | 30歳 | 近江ミッション設立。 |
| | 1919 (大正8)年 | 38歳 | 6月3日、 <small>ひとつやなぎすゑのり</small> 一柳末徳子爵の三女満喜子と結婚。 |
| | 1921 (大正10)年 | 40歳 | 3月、西南学院本館（現西南学院大学博物館）竣工。 |
| | 1941 (昭和16)年 | 60歳 | 1月24日、日本に帰化し、 <small>ひとつやなぎめづる</small> 一柳米来留と改名。 |
| | 1964 (昭和39)年 | 83歳 | 5月7日、一柳米来留永眠。正五位勲三等瑞宝章受章。 |

写真提供：(財) 近江兄弟社

改修工事

外 観

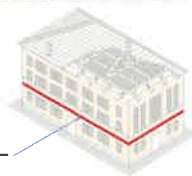
改修前

改修後

南 面



- 変更内容
- 創建後撤去されていた南面の煙突2本を復元した。
 - 軒先の修復、煉瓦の浮き・亀裂、化粧ボーダーの補修、蔦の整理を行った。



化粧ボーダー

北 面

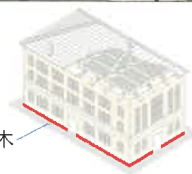


- 変更内容
- 創建後撤去されていた北面の煙突1本を復元した。
 - 軒先の修復、煉瓦の浮き・亀裂、化粧ボーダーの補修を行った。

西 面



- 変更内容
- 旧西館接続跡の開口部を創建時の窓の配置、形状に復元した。
 - 解体されている巾木^{はばき}や化粧ボーダー（花崗岩）、切り取られた軒先を復元した。



巾木

■ 屋根

改修前

屋根と内桶



変更内容 ● 既存屋根材の石綿スレート^{（アスベストスレート）}を撤去し、創建時の天然スレート（玄昌石）に葺き直した。

改修後



屋根と棟包み



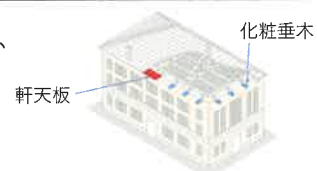
変更内容 ● 棟包みを取替え、創建時の棟の形状を復元した。



軒先



変更内容 ● 軒先の化粧垂木^{（化粧垂木）}、軒天板^{（軒天板）}等が腐食し、脱落寸前の状態であった。一度すべて取外し、部材補修の後再取付した。腐朽が激しい部材は、新材に置き直した。



■ 小屋組

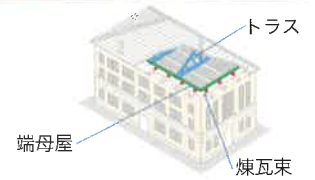
改修前

はなもや
端母屋と煉瓦束



変更内容 ● 屋根先端の端母屋が煉瓦束ボルトから外れて滑り落ちそうになっていた。
トラスを一旦ばらし端母屋を据付け直した。

改修後



■ 1階展示室 旧1階事務室



変更内容 ● 白く塗られた腰板、枠等のペンキを剥ぎ、創建時の茶黒の色に復元。照明器具も創建時の形状に復元。
● 上部コンクリート梁を支える鉄骨丸柱の周囲に煉瓦を積み、創建時の柱の形状に復旧した。



1階廊下



変更内容 ● 床カーペットを剥ぎ取り、フローリング床に復元した。
● 漆喰壁の亀裂を補修。すべての漆喰上塗り材を剥がし新規に漆喰の上塗りを施す。



■ 2階講堂

改修前

改修後

前 方



- 変更内容
- 講堂プロセニウムアーチの亀裂を補修の上、すべての漆喰上塗材を剥がし、新規に上塗りした。
 - 既存天井を解体撤去し、新規に天井を張替え(プラスターボードの上に特殊塗装)。

後 方



- 変更内容
- 3階ギャラリー部分に、手摺を新規に取り付け。
 - 講堂の長椅子の数を少し間引いた。

■ 3階ギャラリー 床と手摺



- 変更内容
- 展示スペースを確保するため、ギャラリーの床の段差をなくし、フラットにし、一部は残した。
 - 床の水平補強後、フローリング床に復旧。安全のために既存手摺の内側に新規に手摺を追加した。

建物の概要

■ 西南学院旧本館・講堂の沿革

- 1916 (大正 5)年 福岡市大名町に「私立西南学院」を設立 (教職員 9 人、生徒 104 人の男子中等学校)
- 1918 (大正 7)年 早良郡西新町 (現福岡市早良区西新) に移転
- 1920 (大正 9)年 西南学院旧本館工事着工
- 1921 (大正 10)年 3月、西南学院旧本館・講堂工事竣工
- 1933 (昭和 8)年 創立者 C. K. ドージャー逝去
- 2004 (平成 16)年 3月 11日、旧本館・講堂を「福岡市指定有形文化財」、「保存建築物」に指定
- 2004 (平成 16)年 8月 9日、旧本館・講堂の補強改修工事着工
- 2005 (平成 17)年 7月 21日、旧本館・講堂の補強改修工事竣工
- 2006 (平成 18)年 4月、建物の名称を「西南学院大学博物館」に変更
- 2006 (平成 18)年 5月 13日、博物館開館式典・15日、一般公開

■ 文化財指定物件の表示及び所有者

指定区分	有形文化財
種別	建造物
指定名称及び員数	西南学院旧本館・講堂 1 棟
所在地	福岡市早良区西新三丁目 194 番地 1
所有者	学校法人 西南学院

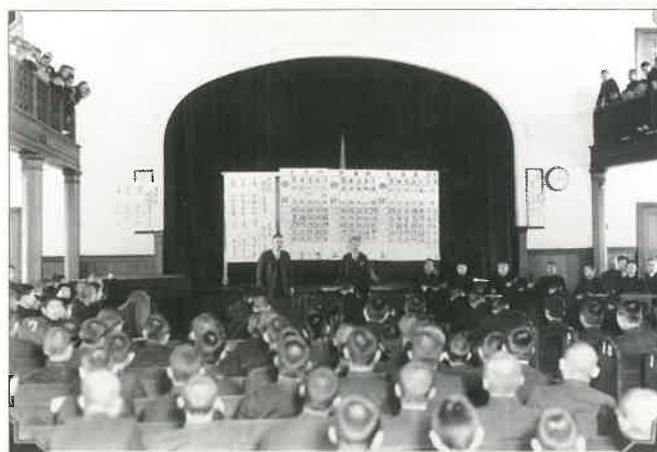
■ 構造形式等

本建物は赤煉瓦造建築 3 階建てで、延べ面積 980 m²、間口 24 m、奥行 15 m で軒高 10.4 m、棟高 15 m。外周及び主な内壁は煉瓦造、1、2、3 階の床は木造。更に屋根は木造トラス (キングポストトラス) により構成されている。煉瓦積みの工法はイギリス積み (正確にはオランダ積み) である。外観は古典様式であるジョージアン・コロニアル・スタイルを基調としている。

旧景



竣工直後の正門、及び本館 (1921 大正10年春)



中学部珠算競技会 (1937 昭和12年)

開館時間のご案内 Open hours

開館時間	10:00-18:00 (入館は17:30まで)	Open hours	10:00a.m.- 6:00p.m. (Entrance before 5:30p.m.)
休館日	毎週日曜日 夏季休暇 [8/10-8/16] キリスト降誕祭 [12/25] 年末・年始 [12/28-1/5]	Days Closed	Sundays Aug.10-Aug.16 Christmas Day (Dec.25) Dec. 28-Jan.5
入館料	無料	- Admission Free -	

西南学院大学博物館 www.seinan-gu.ac.jp/

SEINAN GAKUIN UNIVERSITY MUSEUM

〒 814-8511 福岡市早良区西新3丁目13番1号
TEL 092-823-4785 FAX 092-823-4786 / 博物館事務室
3-13-1 Nishijin, Sawara-ku, Fukuoka 814-8511
Tel: 092-823-4785 Fax: 092-823-4786